

事業報告

「第7期 福島子ども未来塾 第7回」



令和4年1月22日(土)～1月23日(日)

【参加者】小学5年生～中学1年生

【場所】国立磐梯青少年交流の家



○事業趣旨

- ・ 福島子ども未来塾で学んで、これからの未来について考え、発表しよう。
- ・ 震災、スポーツ、表現、SDGs、防災などを体験し、自分が興味のあること調べてまとめ、発表する。

○参加者内訳

対象	男	女	計
小学5年生	7	15	22
小学6年生	8	14	22
中学1年生	2	0	2
中学2年生	0	0	0
合計	17	29	46

○活動日程

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
1/22 (土)						到着 受付	閉塾式	入居オリ ンテーション	昼食	活動 説明	※昼: 研修 ※夜: 研修	A班: 研修 B班: 研修	片 付け	なみえ 水族館	閉塾式リハーサル	夕食	作文レコー ディング	入浴	就寝 準備
1/23 (日)	起床	朝の集 い	朝食	移動	荷物整理 部屋清掃 部屋点検	移動	第7期福島子ども未来塾閉塾式				移動	閉塾式							

○研修トピックス

「調べ学習・作文レコーディング」

福島子ども未来塾を通して学んだことから自分で調べたいことを見つけ、スケッチブックやパワーポイントなどにまとめ発表した。塾生は、12月のOB・OGのアドバイスを生かし、堂々と発表する姿が見られた。その様子を動画として保存した。

「なみえ水族館」

福島子ども未来塾第3回目に福島の漁業についてお話を聞いた。その後、塾生一人一人が福島の海で捕れる魚の絵を描いた。その時の絵を集めた「なみえ水族館」として塾生に披露された。リモートで浪江町の地域まちおこし隊の庄司さんと結び、説明を受けた。塾生からは、「自分の絵が浪江町の人を元気にさせてくれてうれしい」などの声が聞こえた。

「活動報告会・閉塾式」

報告会では代表者がステージで発表を行った。ふるさと福島への思いや自分の将来についての考えを述べるなど、素晴らしい発表が多かった。

来賓、職員ともに福島子ども未来塾を通して成長する塾生の姿が見られた。

○成果と課題

<成果>

- 調べ学習では、パワーポイントとスケッチブックの2通りの方法を用意したことで、それぞれに調べたことをまとめ、発表する等、個に応じた対応ができた。
- 新型コロナウイルス対策を徹底し、活動ごとに部屋と物品を消毒するなど万全にして活動を進めることができた。
- 昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、来賓は、オンラインによる閉塾式の参加もできることを事前に伝えた。昨年の経験があり、スムーズに開催できた。
- 発表の仕方をパソコンで収録することに変更したが、一生懸命調べ学習に取り組んだことを自信をもって発表する姿が見られた。

<課題>

- 作文・調べ学習発表などを充実させ、より内容の深い閉塾式を作り上げたい。